

# 平成22年度 教科に関する研究

## 研究主題「思考力、判断力、表現力をはぐくむ学習指導」

### 1 研究の趣旨

思考力、判断力、表現力をはぐくむ学習指導に関する研究を行い、各学校での学習指導の改善・充実に資する。

### 2 研究主題

#### (1) 「教科に関する研究」の研究主題

思考力、判断力、表現力をはぐくむ学習指導

#### (2) 教科別研究主題

##### ○国語（小学校，中学校，高等学校）

読んで考えて表現する国語科授業の創造

##### ○社会・地理歴史・公民（小学校，中学校，高等学校）

調べ、考え、表現する力をはぐくむ社会・地理歴史・公民科学習指導  
—事象の特色や事象間の関連を説明する言語活動の充実を通して—

##### ○理科（小学校，中学校，高等学校）

観察、実験の結果を考察し表現する授業の創造

##### ○図画工作・美術（小学校，中学校）

自分なりのイメージを基に、思考・判断し、表現する力を育てる図画工作・美術科学習指導  
—言語活動の充実を踏まえた表現及び鑑賞の指導を通して—

##### ○家庭及び技術・家庭（小学校，中学校）

生活に生かす知識・技術を高め、問題解決能力をはぐくむ家庭科、技術・家庭科学習指導  
—言語活動を取り入れた問題解決的な学習を通して—

### 3 研究期間

平成22年度（1年間）

### 4 研究の方法及び研究経過

(1) 教科ごとに研究協力員を委嘱して、4回の研究協議会を開催した。

(2) 研究主題「思考力、判断力、表現力をはぐくむ学習指導」を設定するとともに、教科ごとに教科別研究主題を設定して研究を進めた。

(3) 研究主題「思考力、判断力、表現力をはぐくむ学習指導」について学習指導要領の趣旨を踏まえた教科別研究主題に基づき、校種（小学校，中学校，高等学校）ごとに研究協力員の所属校で、平成22年7月から9月にかけて授業研究を実施した。

## 5 研究主題について

現代は、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤として重要性を増している時代である。このような「知識基盤社会」の時代において、「生きる力」をはぐくむことがますます重要になっている。一方、PISA調査などの各種調査において、社会活動の基盤となる読解力の低下が指摘されている。このような背景から、確かな学力を育成するために、「思考力、判断力、表現力をはぐくむ」ことが広く求められている。

今回の学習指導要領改訂は、平成20年1月の中央教育審議会答申で示された基本的な考え方を踏まえ、教育課程の基準の改善を図ったものである。特にその中の、「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、「思考力・判断力・表現力等の育成」の事項に関しては、基礎的・基本的な知識・技能を、発達の段階に応じて徹底して習得させることを基盤として、思考力、判断力、表現力等をはぐくむために、知識・技能の活用を図る学習活動を充実させることが大切である。さらに、これらの学習活動の基盤となる言語に関する能力の育成のために、各教科等において、記録、要約、説明、論述といった学習活動に取り組む必要があると指摘されている。

これを受け、小学校・中学校・高等学校学習指導要領第1章総則「教育課程編成の一般方針」では、「創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。その際、児童（生徒）の発達の段階を考慮して、児童（生徒）の言語活動を充実する。」と示している。

また、教育課程の実施上の配慮事項において、「各教科等の指導に当たっては、児童（生徒）の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、児童（生徒）の言語活動を充実すること。」と示している。

さらに、茨城県では平成22年度学校教育指導方針（茨城県教育委員会）において「確かな学力を身に付けさせる教育の推進」として「基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して自ら考え、判断し、表現することにより、さまざまな問題に積極的に対応し解決する力をはぐくむ教育を推進する」と示している。

以上のことから、各教科において、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、言語活動の充実を図ることを通して「思考力、判断力、表現力をはぐくむ学習指導」を行うことが重要であると捉え、各教科の目標及び内容を踏まえて本研究主題を設定した。

## 6 研究のねらい

本研究は、学習指導要領や学校教育指導方針の趣旨を踏まえた実践的な研究を行うことによって、児童生徒に思考力、判断力、表現力をはぐくむことを目指して、各学校が創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することをねらいとしている。